元和五 二 廿二

禁中当座御法楽　出題 飛鳥井 雅庸

暁初鴈

諸かれまて残る
衣〳〵の袖にも涙に
秋のこゑ

同年二 廿五　出題 同人

同聖廟御法楽　当月忘

見れは忘られしくてみるく
わかとのや月をとかに
人残まつありも